

生ごみの減量・再資源化施策に関する市民説明会 概要

【塩田地域】

1 開催概要

開催日時	令和 6 年 1 0 月 2 3 (水) 18:30～19:20	
開催場所	塩田公民館 第 1 学習室	
出席者	市民	6 名
	行政（市職員）	環境部長、ごみ減量企画室職員 4 名 資源循環型施設建設関連事業課職員 1 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	臭気	過去に、市内で民間の堆肥化施設があったが、臭気や虫の影響で閉鎖したことがある。今回は途中で頓挫しないよう、公害対策をしっかりしてほしい。	臭気を出さないことが最重要と考えており、市が設定する公害防止基準値を超過しないように管理をしてまいりたい。
2	説明会	ごみ減量の必要性など理念的な説明が多いが、施設の建設コストや袋の価格、生ごみの出し方など具体的な資料を提示してほしい。また、情報はホームページで公表してほしい。	最初の市民説明会ということで、まずは理念から説明させていただいた。具体的なことが決定したら改めて説明会を開催する。また、情報発信についても市民に伝わりやすいようを工夫したい。
3	コスト	施設建設費、維持管理費はいくらか。	議会等では、施設建設費 16 億円、年間維持管理費 6,500 万円と回答しているが、2 年前の見積りを基に算出した金額であるため、現在再精査を行っている。
4	減量化機器補助金	塩田地域は生ごみ分別収集の対象外だが、畑がなく自己処理が難しい人も多い。生ごみ処理機の補助金は毎年すぐに予算が終了するので、予算を拡充してほしい。	昨年度は折込チラシの影響により早期に予算が終了してしまったが、今年度から市内販売店に購入先を限定するなど制度の見直しを行った。